

松本平タウン情報

本社 / 松本市大手4-10-16
編集広告室 / 〒399-8711 松本市
宮田2-10 信毎ビル内
編集・制作…… ☎(0263)28-9080
広告…… ☎(0263)28-9490
(共通) FAX(0263)29-0744
www.townjoho.co.jp

松本平 タウン情報

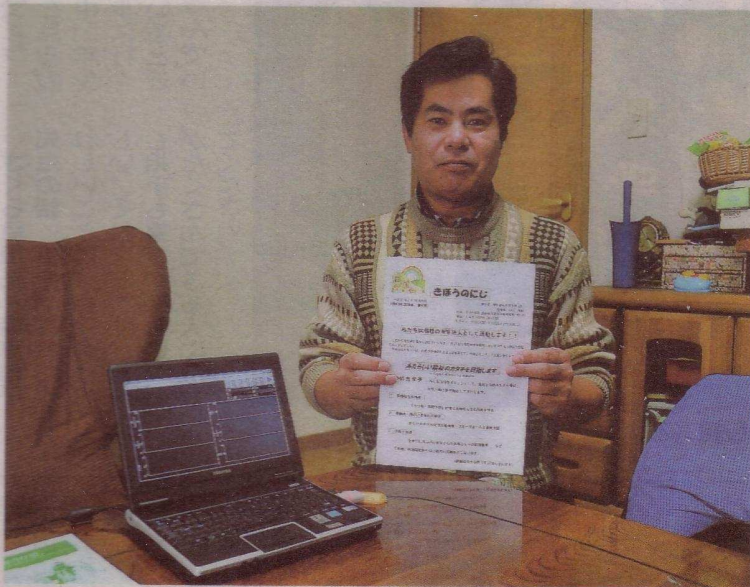
1/20

(木曜日)

配達 20,21日

(週3回/火・木・土発行)

「全国」で年間3万人の自殺者がいるといわれ、社会的に大きな損失だ。その多くがうつ病で苦しんでおり、そうした人々を救う窓口をつくりたかった」と理事長の中村博保さん(51)＝木曾町福島＝は言う。病気を発見し、適切な治療で自殺者を減らす「メンタルヘルス・チェック・システム」の普及を大目標に、医師や医療機器メーカー



きぼうのにじ通信を持つ中村理事長

「心の病」を救う窓口

きぼうのにじ (木曾町)

「などと共に、昨年7月に設立した。」

「うつ病は本人しか分からない病気といわれ、家族にさえ相談できない人もいます。診察

榎葉俊一さんと知り合い、付き合いを続ける中で、うつ病への理解と相談する窓口ができないか模索してきた。

も問診が主流で発見しづらい面もある。昨夏、榎葉さんと医療機器メーカーが共同で、交感神経と副交感神経の自律神経バランスを読み取る「心拍変動リアルタイム解析プログラム」(現在特許出願準備中)を開発した。コンピューターを使い、心電図を取るような要領で胸にシールを張り、「ストレス度」や「疲労度」を測定。病気の有無に加え、それぞれの度合いも分かるため、薬の種類や量も適切に判断でき、「科学的なうつ病診断が可能になった」と(中村さん)という。

既、多くの大学病院で使われているという同システムの導入を自治体や医療機関、企業などに呼び掛けている。「例えば、企業の定期的な健康診断の中にこの検診を加えれば、人目を気にすることもなく受診でき、もし発見されれば、いち早く適切な治療ができる」と中村さん。

うつ病対策だけでなく、学校でのいじめ問題や心的外傷後ストレス障害(PTSD)、ドメスティックバイオレンス(DV)のケアに使うなど「心の病対策」への広がりも期待している。

現在、こうした呼び掛けに賛同した団体などから講演やシンポジウムに呼ばれたり、17日には茨城県取手市の市議団4人が視察に訪れるなど、徐々に広がりをみせている。

課題の資金については、国や県も自殺者数を深刻な状況と捉え医療に対する支援強化策などを打ち出しており、「そうした中から補助金が受けられれば」と話す。

中村さんは「うつ病などの精神疾患に対してはまだ偏見もある。こうした状況が患者を内在させてしまう原因でもあり、知ってもらうことが第一歩」と啓発活動に力を入れる。

(浜秋彦)

きぼうのにじ 地域住民の福祉向上を目的に「福祉ネットワーク」の構築を目指す。特にうつ病対策に力を入れ、医師や医療機器メーカーなどと「メンタルヘルス・プロジェクト」を組み活動。会員は約20人。事務局は木曾町福島1921-10 ☎0264-24-2785